

委託事業実施内容報告書
平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

内容報告書

団体名：NPO法人ABCジャパン

1. 事業の概要

事業名称	外国につながる市民のための日本語教室と生活支援オリエンテーション
事業の目的	鶴見区とその近隣に在住する外国につながる市民が、地域で安心して生活し、自信を持って社会参画していけるように、日本語教室事業とオリエンテーションを通して生活・キャリア形成とその基盤づくりを支える。本事業では、成人向けの生活・仕事に役立つ日本語講座、若者を対象とした日本語教室、生活オリエンテーション、関係機関連携・協力連絡会の4つの取り組みを実施する。取り組みを通じて、外国人市民と地域住民等との交流の場をつくり、外国人市民の現状や日本語教育の必要性等についての理解を促進し、在日外国人コミュニティと密接な関係を持つ当団体を拠点として、行政や他の外国人支援団体、地域住民等と連携することで、地域に根差した活動を目指す。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	事業開始時に下記のような課題があった。 横浜市鶴見区は市内第二位の外国人登録数があり、首位の同市中区と比べ出身国・地域が多様で、南米出身者が多く在住している。長年地域内に住んでいる者も多いが、仕事を優先し、日本語を体系的に学ぶ機会が少ないため、日本語レベルは総じて低い。日本語ができないために地域社会のコミュニティに溶け込めない、安定した仕事に就けない、子どもの教育に十分に関われない等の悩みを持つ外国人市民も少なくない。彼らが地域で安心して生活するために、彼らのニーズに合致した日本語教室を設置することが求められている。また、日本の学齢期を超えてから来日する若者たちは日本語力が不十分なまま高校に進学するため、日本語でのコミュニケーションが困難で、友だちを作ったり、アルバイトをするのも難しく、孤立しやすい傾向がある。学校では同郷の友人とつきあい、家では母語で生活し、日本語を使うのは学校での限られた時間だけとなっているので、普通の会話に関して継続的な日本語の学習を行なうことが必要である。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	①外国人市民が、自立して日本社会で生活するための情報提供を行いながら、社会参画、就労、子育て等に役立つ日本語を学べる日本語教室 ②外国につながる若者が、自分の表現したいことを日本語で伝える力を身につけ、地域で安心して生活し、将来の夢を実現する力を得られるような日本語教室 ③行政、学校、自治会等と連携し、文化的背景の違いに配慮した多言語対応の外国人市民対象のオリエンテーション ④地域で外国人住民のサポートに関わっている行政、学校、団体等の関係機関が連携し協力体制を築いていくための連絡会教室やオリエンテーションにおいて、国際交流ラウンジの館長や自治体職員、地域で様々な活動に携わる日本人等を講師に招くことにより、地域社会に暮らす外国人市民にとって必要な生きた日本語が学べる教室となり、また、外国人市民の抱える課題や日本語教室のあり方についての考えを共有し、今後の支援体制の拡充につなげた。
事業の実施期間	平成29年5月～平成30年3月(11か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	安富祖 美智江	NPO法人ABCジャパン
2	渡辺 裕美子	NPO法人ABCジャパン
3	安富祖 樹里	NPO法人ABCジャパン
4	藤浪 海	一橋大学
5	田村 梨花	上智大学
6	原 千代子	社会福祉法人青丘社



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年5月17日 (水) 17:00～19:00	2時間	ABCジャパン	安富祖(美)、渡辺、安富祖(樹)、藤浪	日本語教室の運営とカリキュラムについて
2	平成29年7月18日 (火) 18:00～20:00	2時間	ABCジャパン	安富祖(美)、渡辺、安富祖(樹)、原	オリエンテーション・セミナーの企画について
3	平成30年1月31日 (水) 17:00～19:00	2時間	ABCジャパン	安富祖(美)、渡辺、安富祖(樹)、田村、藤浪	今年度の振り返りと来年度への展望

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	1996年から多文化共生の取り組みをはじめ、2008年には「多文化まちづくり宣言」を発表するなど、定住化の進む外国人住民に対する支援策を講じてきた鶴見区役所とは、学習支援活動やセミナー・ワークショップ、通訳・翻訳事業等、多文化共生活動において連携を強めてきた。また、地域の外国人市民をサポートする鶴見区国際交流ラウンジとは常に連絡を取り合い、様々な活動において相互に協力体制ができていた。今年度は他の支援団体、地域ボランティア、小中学校・高等学校とも協働しながら、地域の外国人市民・若者の日本語教育実践へのサポート体制を強化させることに努めた。
------	--

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	地域在住のブラジル人コーディネーター①は、地元の外国人コミュニティについて熟知し、多言語での相談対応の実績を持っており、本事業においては、外国人コミュニティとの結びつきを活かし、また当事者としての立場から、生活オリエンテーションや日本語教室の企画面を中心に担った。地域日本語教育コーディネーター②は、これまでに築いた行政や地域の他団体との協力関係と日本語教育の経験を活かして、実際の取組や運営委員会の運営をコーディネートした。①②のコーディネーターは連携をとり、事業を円滑に進める。指導者代表2名は、協力し取組1・2の教育が目標を達成するよう努めた。
----------	---

3. 各取組の報告

<取組1>									
取組1	取組の名称		外国につながる市民のための生活・仕事に役立つ日本語教室						
	取組の目標		・日常生活や仕事の場面において欠かせない日本語表現を習得し、地域で安心して生活できるようにする。 ・日本語の知識、文字・文章の書き方、敬語など働く者として必要な日本語を学び、キャリアアップにつなげる。 ・日本語学習や地域交流を通じて社会のルールを学び、地域住民としての意識を高め、社会参画を促進する。						
	取組の内容		日本語を体系的に学ぶ機会が少なく、職場や家庭で日本語を使う機会も少ないため、日本語の定着が難しかった外国人市民を対象とした日本語教室。日常生活や仕事等で用いられる語彙や表現を学び、地域社会に対する理解を深め、積極的にまわりと関わるためのコミュニケーション能力の向上と仕事でのキャリアアップを目的として行った。 受講生が日々疑問に感じている日本語表現や日本の諸制度については、適宜授業のトピックとして取り上げ、関連表現を学んだ。教材も、日常生活で応用できるように工夫し、必要に応じて生活相談・情報提供に対応した。						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		講師に、国際交流ラウンジの館長や地域で日本語や日本文化を教えている方等を講師に招いて、地域社会・日常生活のルールや行政のサービスのサービス、仕事で使われる日本語について学んだ。また同時に、相談窓口の言語サービスの拡充や支援体制の強化を促すことにつなげた。						
	取組による日本語能力の向上		・日常生活、職場、就職活動、子育て、学校とのやり取り等に活用できる実践的な内容を学び、コミュニケーション能力を身に付けた。 ・受講生が日々疑問に感じている日本語表現や日本の諸制度についてトピックとして取り上げ、関連表現を学んだ。 ・教室の外での体験実習を実施し、体験を通じて日本語を体得する機会を企画した。						
	参加対象者		鶴見区内に在住する南米出身の外国人住民(ブラジル、ペルー、ボリビア、アルゼンチン)の他、近年増加傾向にある中国やネパール、フィリピン出身者等				参加者数 (内 外国人数)	18人 (18人)	
	広報及び募集方法		ABCジャパンホームページ・フリーペーパーへの広告掲載、Facebookでの情報掲示を行う。地域内の関連企業や店舗、鶴見国際交流ラウンジ、区役所関連部署窓口などにポスターを掲示し、チラシを配布した。						
	開催時間数		総時間75時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見区地区センター、鶴見国際交流ラウンジ、地域の日本語教室						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
									16人
		ペルー(2人)							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月7日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	15	ブレインメントテスト	レベルチェックのため筆記試験、音読、面接(会話力)。	横江、渡部	藤浪、上地、奥山	
2	平成29年5月14日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	16	自己紹介	講師とアシスタントがお互い自己紹介をしてみせる。生徒同士で実践する。	横江、渡辺	藤浪、上地	
3	平成29年5月21日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	14	漢字の書き方の基礎	住所が書けるようになるため、漢字の基礎を導入。	横江、渡部	藤浪、上地、奥山	
4	平成29年6月4日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	17	形容詞	いー形容詞/ なー形容詞	横江、渡部	藤浪、上地、奥山	
5	平成29年6月18日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	16	会話「こうやって使います」	職場で使う挨拶(お疲れさまでした、お先に失礼します等)、指示語等を簡単な会話でロールプレイング。	横江、渡辺	藤浪、上地	
6	平成29年7月2日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	18	住所の書き方	生徒の住所プリントを作成し、名前も含めて住所の書き方を教える	横江、渡辺	藤浪、上地、奥山	
7	平成29年7月16日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	15	熱中症	熱中症対策のための基礎知識を易しい日本語で実施。すだれやうちわ等、夏に話題になる語彙をピックアップ。	横江、渡辺	藤浪、上地、奥山	
8	平成29年7月30日 (日) 10:00~13:00	3	ABCジャパン	14	和食	天ぷら、みそ汁、おひたし、お椀、茶碗等のイラストを準備し、生徒の国の食器や料理について話す。	横江、渡辺	藤浪、上地	

9	平成29年8月6日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	13	ことわざ	事前に生徒の国にあることわざを確認し、日本の似たようなことわざを紹介する。	横江、安富祖	藤浪、上地、 奥山
10	平成29年8月27日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	17	動詞の活用	て形の動詞の活用を練習し、進行中の行動が言える。	横江、渡辺	藤浪、上地
11	平成29年9月3日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	16	促音	促音の聞き取りはアシスタント(羽田、小尾)が読み上げた語彙を書いて読む。	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
12	平成29年9月17日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	15	買い物	セール、品物、半額等、買い物をするときに使う語彙を紹介。	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
13	平成29年10月1日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	14	数詞(カレンダー、時、分、値段、数)、曜日	品物の値段、数等を聞くことができるために、簡単な会話でロールプレイング。	横江、安富祖	藤浪、上地
14	平成29年10月15日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	12	防災・救急	防災の日、救急の日について。災害にあったときの対処法について。	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
15	平成29年11月5日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	17	敬語	職場での丁寧な表現。	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
16	平成29年11月26日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	15	履歴書	履歴書の書き方。仕事探しのやり方。	横江、渡辺	藤浪、上地
17	平成29年12月3日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	13	日本の習慣、年賀状	住所の縦書きを練習。年賀状の書き方、ポストに投函する時期等を説明後、年賀状を完成させる。	横江、安富祖	藤浪、上地、 奥山
18	平成29年12月17日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	16	動詞の活用(辞書形・ない形)	規則や禁止事項が理解できるようになる義務や必要性があることを述べるときに使われる表現。	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
19	平成30年1月14日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	15	新年会	新年会を祝う方法や意味。	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
20	平成30年1月28日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	14	あげる、もらう、くれる、やる	物を授受について学ぶ。恩恵を与えたり受けたりしたことを表現できる。	横江、渡辺	藤浪、上地
21	平成30年2月4日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	16	節分、バレンタインデー	日本と世界との「恋人の日」の違い	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
22	平成30年2月18日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	13	自由会話	各国の習慣、宗教観などの違いについて	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山
23	平成30年3月4日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	12	作文	1年を振り返って	横江、安富祖	藤浪、上地
24	平成30年3月11日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	15	終了テスト、日本語の歌の練習	試験でできなかった部分をピックアップして説明。歌を通して日本人の考え方や感じ方などを知ることができる。	横江、渡辺	藤浪、上地
25	平成30年3月18日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	18	修了式	日本語の歌を歌う	横江、渡辺	藤浪、上地、 奥山

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第7回 29年7月16日】

- ・夏と熱中症の話題について。
- ・熱中症にかかったときや体調不良のときによく使う表現の練習。
- ・熱中症対策の基礎知識。
- ・すだれやうちわ等、夏に話題になる語彙をピックアップ。



○取組事例②

【第9回 29年8月6日】

- ・ことわざについて
- ・事前に生徒たちの出身国にあることわざを確認し、簡単に説明。
- ・その後、日本の似たようなことわざを紹介し、例文を作る。



(2) 目標の達成状況・成果

来日してから十数年、あるいは20年以上になる受講生も何人かいるが、家庭では母語を使い、職場でもそれほど日本語が必要ない仕事に就いている人たちも多い。また、学校などで日本語をきちんと学んだことがないので、日常生活で耳にすることはあっても日本語を使う機会が限られている。そうした受講生のために、職場や学校などでよく使う表現をトピックにして、また普段から使い方に困っている表現等を取り上げたり、実践的な日本語を学べるような内容を盛り込んだ。受講生にとっては日本語力アップが実感できる授業となった。

(3) 今後の改善点について

開講日が日曜日ということで、仕事が休みの人が多いが、家族の行事などがバッティングしてしまうこともあり、全員がそろうのはなかなか難しい。また、せっかく新しい表現などを学んでも、仕事や家庭では日本語を使う機会が少ないため、実際に使って身に付けるというプロセスを持っていない場合が多い。

当団体では、自治体や領事館、大使館等とのイベントも多数実施しているので、そうした機会に受講生に積極的に参加してもらい、実際に日本語を使う機会を作っていきたい。

<取組2>

取組2	取組の名称		外国につながる若者を対象とした日本語教室									
	取組の目標		・話す、聞く、読む、書くといった日本語の四技能のコミュニケーション能力を向上させ、よりよい就業機会につなげる。 ・自分の体験や経験、見聞きたこと、自分の考えを伝え、将来の夢を実現する方法を探す。そのために人に相談する力を身につける。 ・日本社会のルールを学び、地域住民としての意識を高める。 ・孤立しがちな若者が、同じような背景をもつ者と出会い、励ましあえる居場所を提供し、前向きに自らの将来と向き合う姿勢を応援する。									
	取組の内容		母国で義務教育年齢を超えてから来日し、高校進学を希望する外国出身の十代後半の若者や、来日して短期間で高校に入学した若者などを対象に日本語指導を受ける機会を提供した。自分の表現したいことを日本語で伝える力を身につけ、日本社会で自ら情報を得る力をつけるために、ニュースや話題になっていることをトピックで取り上げ、情報収集方法や日本社会で生き抜く術等のポイントを学んだ。また、授業後に相談に乗ったり、話に耳を傾ける機会をつくり、学習に対する意欲を低下させず、目標に向かって進めるように最大限の配慮・工夫する。交流会等にも参加し、社会との接点ができるだけ持つように後押しした。日本社会のルールを学び、地域住民としての意識を高め、孤立しがちな若者が同じような背景を持つ若者同士が出会い、励ましあえる居場所を提供した。									
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
	取組による体制整備		日本語力が十分でないために、同年代の友人を作ったり、アルバイトをするのが難しく、なかなか地域社会にも溶け込めない若者が、自信を持って生活して、自分の将来を築いていけるように、日本語教室を実施した。これまで本教室を卒業した先輩たちが彼らのロールモデルとなり、良い循環ができてきている。今後も将来のキャリアのための指導を行う団体や地域の支援体制につなげる役割を担う。									
	取組による日本語能力の向上		・高校進学や求職時にも役立つ面接練習を行った。型どおりのやりとりの練習だけでなく、自分の良いところを日本語で十分にアピールできるように、辞書を使いながら新しい単語や漢字を学習した。 ・日本社会で自ら情報を得る力をつけるために、ニュースや話題になっていることをトピックで取り上げ、情報収集方法や日本社会で生き抜く術等のポイントを学んだ。 ・ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語ができる講師を配置し、授業後に相談に乗ったり、話に耳を傾ける機会をつくり、学習に対する意欲を低下させず、目標に向かって進めるように最大限の配慮・工夫した。 ・区役所や図書館などの地域内の公的施設の利用方法について学び、自ら公的サービスを活用する姿勢を身に付けた。									
	参加対象者		主に横浜市鶴見区在住の十代後半の外国につながる若者。鶴見区に多数在住している南米出身の若者たちに加え、近年、新規来日の人数が増えている中国やネパール、フィリピン等出身の若者を対象とした。					参加者数 (内 外国人数)		8人 (8人)		
	広報及び募集方法		ABCジャパンホームページへの広告掲載、Facebookでの情報掲示を行った。地域内の関連企業や店舗、鶴見国際交流ラウンジ、区役所関連部署窓口などにポスターを掲示し、チラシを配布した。以前からつながりのある高校や地域の日本語教室、学習支援教室に呼びかけたり、コミュニティーへの働きかけを行った。また、本教室の卒業生や保護者から口コミでも宣伝してもらった。									
	開催時間数		総時間70時間(空白地域 時間)									
	主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見国際交流ラウンジ、私立・国立大学、県内の高校他									
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル			
		5								3		
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名			
1	平成29年5月9日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	5	あいさつ ひらがな	基本的なあいさつの練習。ひらがなの確認		横江・渡辺	奥山、藤浪 山本			
2	平成29年5月16日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	5	自己紹介	自己紹介の仕方。実際に練習してみる。		横江・渡辺	奥山、藤浪			
3	平成29年5月23日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	拗音・促音の読み書き	拗音や促音の書き方と読み練習。縦書きの仕方など。		横江・渡辺	奥山、藤浪 山本			
4	平成29年6月6日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	4	数字の読み方	数字の読み方。0～10、20、30、100、200。		横江・渡辺	奥山、藤浪			
5	平成29年6月13日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	月名・日付けの読み方	月名、日付の読み方練習。いつ日本へ来ましたか？〇月に来ました。などの練習		横江・渡辺	奥山、藤浪			
6	平成29年6月20日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	日付の言い方、カタカナ練習	日付の言い方。誕生日の答え方。カタカナの読み書き練習。		横江・渡辺	奥山、藤浪 山本			
7	平成29年7月4日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	5	数字・日付の読み方復習	数字や日付の読み方の違い。カタカナの読み書き練習。		横江・渡辺	奥山、藤浪 山本			
8	平成29年7月11日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	カタカナ語	カタカナ語を読む練習。日付・曜日などの質問に答える練習。		横江・渡辺	奥山、藤浪			

9	平成29年7月18日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	国の名前	国の名前をカタカナで書いてみる。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
10	平成29年7月25日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	わたしは～です	自分の職業、身分などを伝える	横江・渡辺	奥山、藤浪
11	平成29年8月22日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	出身国などの聞き方	お国はどちらですか。いつ、日本へ来ましたか。などの質問への答え方。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
12	平成29年8月29日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	お金の数え方	お金の数え方～円、～千円、～万円。自分の持ち物などの値段について。	横江・渡辺	奥山、藤浪
13	平成29年9月5日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	い形容詞	いろいろな物や人について形容詞で表す。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
14	平成29年9月12日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	カレンダーの見方・時刻の言い方	カレンダーの日にちを言う。時間の言い方。～時～分。	横江・渡辺	奥山、藤浪
15	平成29年9月19日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	生年月日	自分や家族の生年月日を言ってみる。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
16	平成29年10月3日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	5	年齢の言い方	自分の歳の言い方、相手の歳の尋ね方(何歳、おいくつ)	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
17	平成29年10月10日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	ものの名前の尋ね方	これは何ですか？～です。い形容詞。	横江・渡辺	奥山、藤浪
18	平成29年10月17日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	時間の言い方・自己紹介の復習	～時～分の読み方復習。自己紹介をの練習。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
19	平成29年10月24日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	5	質問と答え方	～を食べますか・飲みますか？はい、食べます。いいえ、食べません。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
20	平成29年11月7日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	過去形の使い方	食べました、飲みましたを使って、自分のことを話す。	横江・渡辺	奥山、藤浪
21	平成29年11月14日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	場所の言い方	ここ・そこ・あそこ・どこ こちら・そちら・あちら・どちら	横江・渡辺	奥山、藤浪
22	平成29年11月21日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	今週・先週・来週	先週、病院に行きましたなどの使い方	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
23	平成29年12月5日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	～時から～時まで 動詞	～時から～時まで〇〇します を使って自分のことを話す。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
24	平成29年12月12日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	～時に～します。しました。	します／しません、しました／しませんでした を使って過去・現在のことを話す。	横江・渡辺	奥山、藤浪
25	平成29年12月19日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	右・左の使い方	右目・左目、右手・左手、右足・左足を使って文章を作ってみる	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
26	平成30年1月9日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	自分の国や町を紹介する	自分の出身国・町の紹介をする。	横江・渡辺	奥山、藤浪
27	平成30年1月16日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	(手段・道具)で～を〇〇します。	箸でラーメンを食べます。などの言い方。ナイフ、フォークなどの語彙。	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
28	平成30年1月23日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	動詞の練習	教えます／習います、貸します／借ります	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
29	平成30年1月30日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	あげます／もらいます	あげます、もらいますを使った会話練習	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
30	平成30年2月6日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	もう～しましたか、～したことがありますか。	経験を尋ねる言い方の練習。	横江・渡辺	奥山、藤浪
31	平成30年2月13日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	6	〇時間の使い方、家族の呼び方。	今日、2時間勉強しました。父、母、祖父、祖母などの呼び方。	横江・渡辺	奥山、藤浪
32	平成30年2月20日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	5	毎日～勉強します。〇時に起きます、寝ます	毎日、3時間勉強します。8時に起きます、10時に寝ます	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
33	平成30年3月6日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	7	情報を読み取る	雑誌やチラシから必要な情報を読み取る	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本
34	平成30年3月13日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	作文の書き方	原稿用紙の使い方。作文のテーマと流れを考える。	横江・渡辺	奥山、藤浪
35	平成30年3月20日 (火) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	8	作文	日本に来てから今までの生活について	横江・渡辺	奥山、藤浪 山本

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第16回 29年10月3日】

- ・人の年齢の言い方を学ぶ。
- ・自分や家族、友だちの歳を伝える。
- ・相手の歳を聞くときの表現。(何歳ですか、おいくつですか)
- ・生年月日の言い方の復習と練習。



○取組事例②

【第24回 29年12月12日】

- ・「～時に～します」「～時にしました」という表現を学ぶ。
- ・最初に毎日の習慣について「～します」を使って自分の生活について文章を作る。
- ・その後、自分や自分の家族の行動について「～しません」を使った例文を作る。
- ・「～しました、～ませんでした」を使って自分の行動を話す。その後、一人ずつこの表現の疑問文を使って質問しあう。



(2) 目標の達成状況・成果

教室をスタートする時点で、すでに日本語を学んだ経験のある受講生もいれば、まったく日本語に触れた経験もない受講生もいたため、レベル設定や指導内容を決めるのに苦労したが、受講生たちの様子を見ながら、授業を進めていった。

来日したばかりの若い受講生たちが興味を持つ内容をトピックとして取り上げ、またコミュニケーションをつけて、高校進学や求職時にも役立つような面接練習も行った。最終的には全員がスタート時よりはかなり日本語の総合力をつけることができた。

(3) 今後の改善点について

来日したばかりで日本語のできない受講生は、言葉だけではなく文化的・社会的な壁にも苦労しているので、日本語の指導に加えて、日本の文化や社会通念等と一緒に伝えらるような授業になるようにしていきたい。受講生たちが、日本での生活において、不安やストレスをあまり感じないで、安定した生活が送れるように実践的な日本語指導を目指したい。

<取組3>

取組3

取組の名称		外国につながる市民の自立のための生活オリエンテーション							
取組の目標		・外国につながる住民の生活の質向上を目的としたオリエンテーションの実施を通して日本語教育の必要性を理解してもらう ・参加する支援者と学習者の意見交換の場を創出することで教室の体制やあり方を住民が共に構築する ・地域内で外国人支援に係わる関係団体・機関の協働のきっかけづくりとする							
取組の内容		外国につながる住民は、日本語のコミュニケーションが困難だけでなく、日本の諸制度についての知識や理解が十分でなため情報弱者におかれがちである。定住化が進んでいるが、日本で安心・安全な生活を送るためには、多言語で内容も文化的背景の違いに配慮した内容でオリエンテーションを実施することが効果的である。 テーマについては、学習者がもっとも関心のある子どもの進学や多文化子育てに関するものを取り上げる。それぞれ専門の講師に依頼し、生活の質を向上させるような内容でオリエンテーションを実施した。 【内容】 ・やさしい日本語と多言語を使って、日本の諸制度や教育、多文化状況での子育て等についての情報を提供した。 ・日本で生活していく上で必須の日本語表現、語彙等を学びながら、生活の質を向上させるオリエンテーションを実施した。							
☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
取組による体制整備		長年日本に住んでいても仕事や子育て等で忙しく、体系的に日本語を学ぶ機会がなかなか持てなかった外国につながる市民や若者に対して、地域で安心して生活を送るために必要な情報を提供した。オリエンテーションへ通して、取組1、2の日本語教室への参加につなげ、日本語学習の動機付けを図った。心理カウンセラーや地域で様々な活動に携わる日本人を講師に招くことにより、外国人に対する適切な情報提供や、多言語対応、日本語教育の必要性等を理解してもらった。							
取組による日本語能力の向上		・やさしい日本語と多言語を使って、日本の諸制度や教育、多文化状況での子育て等についての情報を提供した。 ・日本で生活していく上で必須の日本語表現、語彙等を学びながら、生活の質を向上させるオリエンテーションを実施した。							
参加対象者		・日本語教室参加者および区内在住外国人 ・多文化共生・外国人支援にかかわる支援団体、ボランティア				参加者数 (内 外国人数)		187人 (162人)	
広報及び募集方法		ABCジャパンホームページ・フリーペーパーへの広告掲載、Facebookでの情報掲示を行った。地域内の関連企業や店舗、鶴見国際交流ラウンジ、区役所関連部署窓口などにポスターを掲示し、チラシを配布した。							
開催時間数		総時間12時間(空白地域 時間)							
主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見国際交流ラウンジ、鶴見区地区センター、他の外国人支援団体等							
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		35				8			92
		ポリビア(15人)、ペルー(12人)、日本人(25人)							

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年10月7日 (土) 14:00~17:00	3	鶴見国際交流ラウンジ	54	高校進学ガイダンス	外国につながる子どもとその保護者を対象に、高校入学システムのガイダンスと相談会。	高橋清樹	小峰 麗 渡辺 裕美子 横江 美智子
2	平成29年11月19日 (日) 14:00~17:00	3	潮田地区センター	51	多文化子育て	定住外国人の保護者を対象に、多文化・多言語についての子育て論。	カルラ・バホス	小峰 麗 渡辺 裕美子 横江 美智子
3	平成30年2月10日 (土) 10:00~13:00	3	鶴見国際交流ラウンジ	18	面接試験練習	面接試験に向けた対策講座。	井草 まさ子	小峰 麗 渡辺 裕美子 横江 美智子
4	平成30年2月25日 (土) 10:00~13:00	3	鶴見社会福祉協議会	64	大学進学ガイダンス	外国につながる子どもとその保護者を対象に、大学入学システムの説明、新たな制度のガイダンスと相談会	藤浪 海	小峰 麗 渡辺 裕美子 横江 美智子

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第2回 29年11月19日】

- ・定住外国人の保護者を対象に多文化・多言語での子育てについて、ブラジル人心理カウンセラーが講演を行った。
- ・日本に暮らす外国人の保護者がどのように子育てをしていけばよいか、子どものアイデンティティ、親子の関係など、話題は多岐にわたった。
- ・質疑応答の時間には、参加者から活発な意見や自分の抱えている悩みについての発言が見られた。



○取組事例②

【第4回 30年2月25日】

外国につながる子どもとその保護者向けの大学進学ガイダンスも今年で9年目の開催となる。昨年当団体で作成した3カ国語(ポルトガル語、英語、中国語)版の大学進学ガイドブックを使いながら、各国語の通訳をつけて、受験対策、学校選び、学費、入試のシステムなどについて丁寧に説明。特に学費についてはかなり前から準備をしていないと大変なので、高校生だけでなく中学生とその保護者にも積極的に参加を呼びかけ、約60人の参加があった。今回は教育ローン担当者にも話をしてもらい、保護者からは積極的に質問が出されていた。



(2) 目標の達成状況・成果

当団体の本拠地である鶴見区で毎年開催している高校・大学進学ガイダンスだが、参加者は鶴見・川崎近郊だけでなく、相模原や藤沢などの遠隔地からも来ている。外国につながる保護者にとっては、日本の教育システムについての情報は限られており、通訳付きのこうしたガイダンスのニーズの高さを改めて感じている。毎回特に好評なのは、実際に大学や大学院に行っている先輩たちの話やアドバイスで、アンケートでも評価が高かった。

(3) 今後の改善点について

言葉の壁等によって様々な情報へのアクセスが困難な外国人市民のために、今後もより役に立つセミナーを継続して実施していきたい。子育てや子どもの教育に関心を持っている外国人市民はもちろん、色々な問題を抱えながらも相談する術を持たない人たちに対して、きちんと情報を届けられるように、情報発信により力を入れていきたい。

<取組4>

取組4

取組の名称		外国につながる市民の支援に関わる関係機関との連携・協力連絡会									
取組の目標		・外国につながる市民の生活支援に関わる団体間の情報共有、連携の検討 ・課題解決のための取り組みの企画・実施のための協働の体制づくり ・地域住民、行政等が連携した外国人市民の社会参画の機会創出									
取組の内容		外国につながる市民のサポートを行っている行政、学校、団体(以下に記載)の支援者が一同に会する会議を実施し、地域内でのさまざまな問題・課題について情報共有・情報交換を行った。外国人市民を取り巻く現状と課題について、異なる立場で関わる関係者間で議論することにより、外国人の日本語学習環境上の課題、日本語教育の必要性について共通認識を持ち、地域の日本語教室間の連携を強め、日本語教育の普及に努めた。また地域の中での外国人市民の社会参画の在り方などについても検討した。									
☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
取組による体制整備		外国につながる市民への支援にかかわっている団体、行政、学校、地域市民、当事者である外国人市民が、それぞれの場から問題・課題を提起し、情報を共有した。課題解決のための取り組みを企画し、行政への外国人コミュニティとの連携のあり方・支援方法への提言も合わせて、提示できるようにした。									
取組による日本語能力の向上											
参加対象者		鶴見区地域振興課、鶴見国際交流ラウンジ、学校教員など					参加者数 (内 外国人数)		12人 (8人)		
広報及び募集方法		鶴見区役所や鶴見国際交流ラウンジ、本団体が把握している機関等に広く呼びかけた。									
開催時間数		総時間4時間(空白地域 時間)									
主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見国際交流ラウンジ、地域の小中学校・高校他									
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル		
		2				1			5		
		日本(4人)									
実施内容											
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容			指導者名	補助者名	
1	平成29年10月17日 (火) 16:00~18:00	2	ABCジャパン	11	外国人市民の社会参画	外国人市民の社会参画を推進するための取り組みなど			なし	なし	
2	平成30年2月20日 (火) 16:00~18:00	2	ABCジャパン	8	外国につながる子どもの教育支援	外国につながる子どもと保護者への包括的サポートについて			なし	なし	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 29年10月17日】

外国人市民の社会参画を推進するための取り組みについて、それぞれの立場から意見や体験談等を出し合い、定住外国人市民が積極的に社会参画するために必要な要素や日本語学習の重要性について話し合った。



○取組事例②

【第2回 30年2月20日】

外国につながる子どもの教育支援において重要なのは保護者や家族も含めて包括的にサポートすることである。外国につながる子どもとその家族を地域や学校、行政、外部機関等と連携しながら支援するための課題や解決策について、各団体や支援者同士で意見交換・情報交換を行なった。



(2) 目標の達成状況・成果

日系ブラジル人が中心となって立ち上げ、鶴見区の日系南米コミュニティを熟知し、その中心的役割を担っている当団体では、外国人市民のサポートに携わっている他の団体とさまざまな情報を共有し、連携しながら支援を進めることができた。さらに外国人市民のために、地域住民や行政ともさらに連携・協力を強めながら活動していきたい。

(3) 今後の改善点について

鶴見区という地域の特性もあり、ブラジルを中心とした南米系コミュニティについては、その課題やニーズもかなり把握できているが、他の外国人市民向けにもさらに情報発信し、日本語教室やイベント、ワークショップの紹介を行なっていきたい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

鶴見区とその近隣に在住する外国につながる市民が、地域で安心して生活し、自信を持って社会参画していけるように、日本語教室事業とオリエンテーションを通して生活・キャリア形成とその基盤づくりを支える。本事業では、成人向けの生活・仕事に役立つ日本語講座、若者を対象とした日本語教室、生活オリエンテーション、関係機関連携・協力連絡会の4つの取り組みを実施する。取り組みを通じて、外国人市民と地域住民等との交流の場をつくり、外国人市民の現状や日本語教育の必要性等についての理解を促進し、在日外国人コミュニティと密接な関係を持つ当団体を拠点として、行政や他の外国人支援団体、地域住民等と連携することで、地域に根差した活動を目指す。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

日本語教室では、外国人市民や外国につながる若者が、日本社会で安心して生活し、自己表現ができるような日本語力を身につけ、社会参画につながる日本語を学べる教室を開講することができた。今年で9年目の開催となる「外国につながる子どもと保護者のための高校・大学進学ガイダンス」では、多言語での通訳をつけて、日本の教育システムや高校・大学入試の仕組み、志望校選択のアドバイス、学費や奨学金等について情報を提供した。外国人市民の支援に関わる関係機関や団体との連絡会を重ねることによって、地域住民と外国人市民との相互理解のためのより良い環境づくり・仕組みづくりに向けて、活動することができた。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

普段から地域の国際交流ラウンジや自治体、学校、他の外国人支援団体等と情報交換・意見交換を行うことによって、いま地域で求められている外国人市民への支援や日本語教室のあり方についてきちんと把握することができた。それによって、外国人市民のニーズにあった、より役立つ教室づくりや外国人市民の社会参画を促すようなセミナーの計画・実施に役立てることができた。

(4) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

日本語教室や進学ガイダンス、心理学セミナーの情報をより多くの市民に届けられるようにSNS等のツールを最大限に利用して、周知・広報に努めた。その効果があり、鶴見区近隣だけではなく、遠隔地からの参加も多かった。また、国際交流ラウンジや行政担当者に対し、外国人市民のための日本語教室の重要性について伝え、その成果も知ってもらえるように尽力した。日本語教室、ガイダンス等の終了後には、常に連携を取っているブラジル総領事館や外国人コミュニティ、地域の他の支援団体等に対してもその実施内容や成果、課題等について報告した。

(5) 改善点、今後の課題について

これまで長く日本で生活してきた外国人市民だけでなく、最近では新規来日や国内の他地域から移転してくる家族も増えている。当団体は南米出身者コミュニティを主な活動のフィールドとするが、今後は、南米出身者のネットワークだけでなく、ますます人数が増加している中国やフィリピン、ネパールなどのコミュニティへの情報発信も行いながら、外国人市民が安心して暮らしていけるような基盤づくりを続けたい。外国人市民のニーズに沿った情報を提供しながら、地域における日本語教育の体制整備を進めていくのはもちろん、地域社会に対し、定住外国人に対する日本語教室の必要性についての発信にも力を入れていきたい。

(6) その他参考資料

日本語を学んで、
もっと働きやすく!

Curso de japonês
Para se integrar no ambiente de trabalho

Curso de japonês
Para que pueda integrarse en su ambiente de trabajo

Inscrições abertas

Local: NPO ABC Japan

Organização: NPO ABC Japan Yokohama-shi Tsurumi-ku Tsurumi chuo 1-4-3 Kyodo 5F
045-550-3455 | info@abcjapan.org
Support: Bankacho (The Agency for Cultural Affairs)